

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公表特許公報 (A)

(11) 特許出願公表番号

特表平6-506425

第2部門第6区分

(43) 公表日 平成6年(1994)7月21日

(51) Int.Cl.*	識別記号	序内整理番号	F I
B 6 S D 47/08		F 8208-3E	
4L/32		Z 8467-3E	
47/26		L 8208-3E	

審査請求 有		予備審査請求 有		(全 10 頁)
(21) 出願番号	特願平2-508790	(71) 出願人	ジェリアン、ランドル、ケイ アメリカ合衆国 インディアナ 47715 エバンスビル ウォルナット・レーン 2223	
(36) (22) 出願日	平成2年(1990)5月22日	(72) 発明者	ジェリアン、ランドル、ケイ アメリカ合衆国 インディアナ 47715 エバンスビル ウォルナット・レーン 2223	
(35) 翻訳文提出日	平成3年(1991)11月25日	(74) 代理人	弁理士 北村 修	
(36) 国際出願番号	PCT/US90/02928			
(37) 国際公開番号	WO90/14286			
(38) 国際公開日	平成2年(1990)11月25日			
(31) 優先権主張番号	357,092			
(32) 優先日	1989年5月26日			
(33) 優先権主張国	米国 (US)			
(31) 優先国	EP (A.T., B.E., CH., DE, DK, ES, FR, GB, IT, LU, NL, SE), CA, JP			

(54) 【発明の名称】 デイスベンス可能なクロージャ

(57) 【要約】

平成2年12月1日前の出願であるので、条約に定める
発明の翻訳文の提出が義務づけられていないため、要約
及び選択図は掲載しない。

発表番号-506425 (2)

構造の概要

本発明の目的は、以下の記載と図面とに示される実施例によって達成される、ここで

1. 容積の開口部を介して、部品を分配するこの装置に取り付けられるためのディスペンス可能なクロー ज्याアである、

前記容器に対する軸方向への移動を許容した状態で前記容器に取り付けるための手段を備えたベースリングと、

と、

前記装置の前記容器開口部への進入を防止する閉じ位置と開放位置との間の移動を許容する状態で前記装置を前記ベースリングに接続するシジと、

前記ベースリングが回転した時に、前記装置がその閉じ位置からその開放位置へと移動して前記装置がその開放位置に位置する状態に、前記装置に接続されたカム部材とを有する。

2. クレーム1に記載のディスペンス可能なクロー ज्याアであって、更に、前記リングにはロック部材が設けられ、このロック部材を開放して前記リングを回転させるために、前記リングに対して選択的に圧力が与えられるものである。

3. クレーム1に記載のディスペンス可能なクロー ज्याアであって、更に、前記装置がその閉じ位置からその開放位置へと回転可能になるために、切断する必要がある開

鎖部材接続が前記装置とリングとの間に設けられている。

4. クレーム3に記載のディスペンス可能なクロー ज्याアであって、前記開鎖部材は、前記装置とリングとの間に設けられていて、前記装置が開放できるように除去される必要があるプラグを有する。

5. クレーム3に記載のディスペンス可能なクロー ज्याアであって、前記開鎖部材は、前記装置とリングとの間に設けられ、前記装置が最初に開けられた時に壊れる、壊れ易いウェブを有する。

6. クレーム1に記載のディスペンス可能なクロー ज्याアであって、前記カム部材は、前記容器のカム部に係合して前記リングが回転した時に前記装置を開放動作する。

7. クレーム1に記載のディスペンス可能なクロー ज्याアであって、前記装置は、平坦なトップ部と、その頂部から垂下するスカート部と、更に、前記スカート部の底部に設けられ前記装置がその閉じ位置にある時に、前記容器の外向きフランジとの協働で前記装置を前記容器内に保持する内向きビードとを有する。

8. クレーム7に記載のディスペンス可能なクロー ज्याアであって、前記カム部材は、前記リングが回転して前記装置がその開放位置へと移動する時に、前記フランジの前記ビードの少なくとも一面を押す動作をする。

9. クレーム8に記載のディスペンス可能なクロー ज्याアであって、前記装置ビードが分割されていて、これら

前記ビード分割の少なくとも一つが前記カム部材を形成し、このカム部材が、前記容器のカム面に係合して、前記リングが回転して前記カム部材ビード分割を前記容器フランジに嵌込めて前記装置が開放位置へと押し動作される前記カム部材ビード分割を持ち上げて外方に延出する。

10. クレーム1に記載のディスペンス可能なクロー ज्याアであって、前記容器は、前記開口部を含むネック部を有し、前記装置は、この装置がその閉じ位置にある時に、前記ネック部に係合して前記開口部を密封するプラグを有する。

11. クレーム10に記載のディスペンス可能なクロー ज्याアであって、前記プラグは、前記ネック部の外周に係合するように構成されている。

12. クレーム11に記載のディスペンス可能なクロー ज्याアであって、更に、前記装置がその閉じ位置にある時に、前記容器のリップ部に対して密封するガスケットが前記プラグ内に設けられている。

13. クレーム10に記載のディスペンス可能なクロー ज्याアであって、前記プラグは、前記ネック部の内面に係合するように構成されている。

14. クレーム10に記載のディスペンス可能なクロー ज्याアであって、更に、前記容器ネック部に係合して、前記開口部よりも小さい直径の分配開口部を提供する開口

部がプラグに設けられている。

15. クレーム14に記載のディスペンス可能なクロー ज्याアであって、前記プラグは、前記分配開口部に係合して、前記分配装置が前記容器に取り付けられる前に、前記開口部がプラグを前記容器内面に保持し、前記容器は前記前記容器に取り付けられ、前記プラグは、前記容器がその閉じ位置にある場合に、前記分配開口部に密封状態で係合する。

16. クレーム1に記載のディスペンス可能なクロー ज्याアであって、前記容器は、前記開口部を形成するリップ部の所て作られるネック部を有し、更に、前記装置がその閉じ位置にある時に、前記リップ部に対して密封するガスケットが前記装置内に設けられている。

17. クレーム1に記載のディスペンス可能なクロー ज्याアであって、前記装置は、前記開口部に設けられ、前記容器のネック部の外向きフランジにはより込む内向きビードを有する。

18. クレーム1に記載のディスペンス可能なクロー ज्याアであって、更に、前記開口部と連通した状態で前記容器に取り付けられる嵌込み部材を有し、前記リングは前記嵌込み部材に回転可能に取り付けられる。

19. クレーム1に記載のディスペンス可能なクロー ज्याアであって、前記リングは、前記リングを前記嵌込み部材に取り付けるために前記嵌込み部材の外向きフラン

図表平6-50R425 (8)

シには互内向きビードを有する。

20. クレーム18に記載のディスペンス可能なクロージャであって、前記容腔が傾斜であり、前記嵌込部材が前記開口部材に形成された前記開口部内において係合するための手段を有する。

21. クレーム18に記載のディスペンス可能なクロージャであって、前記容腔がネック部を有する筐体であり、前記嵌込部材が前記ネック部に嵌込むためのビードを有する。

22. クレーム18に記載のディスペンス可能なクロージャであって、前記嵌込部材がカム面を有し、前記リングが回転した時に、前記カム部材が前記カム面に接触し、前記容腔をその閉じ位置からその開放位置へと移動させ、前記蓋がその開放位置位置へと移動可能になっている。

23. クレーム22に記載のディスペンス可能なクロージャであって、前記カム部材が傾斜形状を有し、前記カム部材が傾下カムフォロアとして形成されていて、前記リングが回転した時に、前記カムフォロアが前記傾斜カム面に接触して前記容腔をその閉じ位置からその開放位置へと移動させる。

24. クレーム22に記載のディスペンス可能なクロージャであって、前記蓋は、平坦なトップ面と、その端部から傾下するスカート部と、更に、前記蓋スカート部の

前記嵌込部材に対する軸芯方向の移動なしで回転を許容する状態であるように、前記嵌込部材に取り付けられるための手段を備えたベアリングと、

蓋と、

前記蓋の前記容腔開口部への遮蔽を防止する閉じ位置と開放位置との間の回転を許容する状態で前記蓋を前記ベアリングに接続するヒンジと、

前記リングが回転した時に、前記蓋がその閉じ位置からその開放位置へと移動して前記蓋がその開放位置位置へと移動する状態に、前記蓋に形成されたカム部材とを有する。

25. クレーム23に記載のディスペンス可能なクロージャであって、前記蓋部材がネック部を有し、前記取り付けのための手段が前記ネック部に嵌込むための手段を有する。

26. クレーム28に記載のディスペンス可能なクロージャであって、前記容腔は開口部を備えた平坦なトップ面を有する筐体であり、前記取り付けのための手段は、前記開口部材に嵌込む機構するために前記嵌込部材に付けられた外向きのビードを有する。

27. その開口部を介して製品を分配するためのディスペンス可能なクロージャである容器パッケージであり、以下の特徴から構成される。

底面位置を受けるための手段と、前記蓋部材の蓋

底部に設けられ前記蓋がその閉じ位置にある時に、前記嵌込部材の外向きフランジとの遮断で前記蓋を前記嵌込部材に嵌込む保持する内向きビードとを有する。

28. クレーム27に記載のディスペンス可能なクロージャであって、前記カム部材は、前記リングが回転して前記蓋がその開放位置へと移動する時、前記フランジの前記ビードの少なくとも一部を押し動かす。

29. クレーム28に記載のディスペンス可能なクロージャであって、前記蓋ビードが分離され、これらの分離のビード分離の少なくとも一つが、前記カム部材を駆動し、このカム部材が、前記嵌込部材のカム面に接触して、前記リングが回転して前記カム部材ビード分離を前記容器フランジに嵌込んで前記蓋が開放位置位置へと押し動かされる前記カム部材ビード分離を持ち上げて外方に突出する。

30. クレーム1に記載のディスペンス可能なクロージャであって、前記蓋は、前記ベースリングよりも小さな直径を有し、前記蓋がその閉じ位置にある時には、前記ベースリングの一部分内にフィットする。

31. 容腔の開口部を介して、製品を分配するこの容器に、前記蓋が取り付けられるための手段を備えたディスペンス可能なクロージャであって、

前記蓋に取り付けられるための手段とカムとを備えた嵌込部材と、

を持ち上げるのに使用するカム面とを備えた容器と、

以下を有する状態に、

前記蓋に対する軸芯方向の移動なしで回転を許容した状態で前記容器に取り付けられるための手段を備えたベアリングと、

蓋と、

前記蓋の前記容腔開口部への遮蔽を防止する閉じ位置と開放位置との間の回転を許容する状態で前記蓋を前記ベースリングに接続するヒンジと、

前記ベースリングが回転した時に、前記蓋がその閉じ位置からその開放位置へと移動して前記蓋がその開放位置位置へと移動する状態に、前記蓋に形成されたカム部材とを有する。

32. クレーム31に記載のディスペンス可能なクロージャであって、前記カム部材が傾斜形状を有し、前記カム部材が傾下カムフォロアとして形成されていて、前記リングが回転した時に、前記カムフォロアが前記傾斜カム面に接触して前記容腔をその閉じ位置からその開放位置へと移動させる。

33. クレーム32に記載のディスペンス可能なクロージャであって、前記蓋は、平坦なトップ面と、その端部から傾下するスカート部と、更に、前記蓋スカート部の底部に設けられ前記蓋がその閉じ位置にある時に、前記嵌込部材の外向きフランジとの遮断で前記蓋を前

特許第 5-506425 (4)

筆記込み部材に嵌込み保持する内向きビードとを有する。

34. クレーム 33 に記載のディスプレイ可能なクロージャであって、前記カム部材は、前記リングが回転して前記蓋がその開放位置へと移動する時、前記フランジの前記ビードの少なくとも一部を押し動作をする。

35. クレーム 34 に記載のディスプレイ可能なクロージャであって、前記ビードが分離される。これら複数のビード分離の少なくとも一つが、前記カム部材を形成し、このカム部材が前記嵌込み部材のカム面に連続して、前記リングが回転して前記カム部材ビード分離を前記蓋フランジに嵌込んで前記蓋が開放位置状態へと押し動作される前記カム部材ビード分離を押し上げて外方に突出する。

36. その開口部を介して製品を分配するためのディスプレイ可能なクロージャ—蓋パッケージであり、以下の組合せから構成される。

前記開口部の周りに配置された嵌込み部材を受ける手段を有する蓋板、

前記開口部と連通状態で前記蓋板に嵌り付けるための手段を有する嵌込み部材、

以下を有する蓋部材、

前記蓋部材に対する軸方向の移動なしで回転を許容した状態で前記蓋部に嵌り付けるための手段を備えたベスリングと、

明 細 書

ディスプレイ可能なクロージャ

本発明は、ベスリングにヒンジ止めされた、容積の開口部を閉じる閉じ位置と開放位置との間で自動する蓋を有する蓋部材のディスプレイ可能なクロージャ (dispensable closure) に関し、より詳しくは前記蓋の最初の閉鎖動作を行うための手段に関する。

通常、ディスプレイ可能なクロージャは、ヒンジ中、その他の蓋部材のヒンジ部に嵌り付けるためのスナップビード等の形態を有する開放スカート部を加えたベス又はキャップを有する。このキャップのトップは、通常、分配用開口部 (dispensing orifice) を有し、前記蓋は、前記開口部をカバーする閉じ位置と開放開口部を介して製品を分配する開放位置との間で自動される。通常、前記蓋のスカート部は、前記キャップのスカート部と形状一致、あるいは、部一に形成されて好ましい外観を呈するようにしている。そして、前記キャップのスカート部には前記蓋を閉めるための溝槽のくみ込みが形成されている。前記閉鎖機構を子供にも安全な構造にするには、前記溝槽くみみを除去し、前記キャップスカート部と一致した、あるいは、前記蓋が前記分配用開口部を閉じる閉じ位置にある時に前記キャップのトップ内に嵌入する突起の鋭い端を設ける。前記蓋は、層間に蓋の破壊を誘発させる動作をして、あるいはこの

蓋と、

前記蓋の前記蓋部材開口部の近接を防止する閉じ位置と開放位置との間の回転を許容する状態で前記蓋を前記ベスリングに接続するヒンジと、

前記蓋が回転した時、前記嵌込み部材に接触して前記蓋をその閉じ位置からその開放位置へと移動させて、前記蓋がその開放位置位置へと自動できる状態に、前記蓋に配置されたカム部材。

動作と同時に、蓋を開放位置へと自動する動作をし、ない限りは望むことは出来ない。従来技術として、従来一般式または簡易式の子供にも安全な構造のディスプレイ可能なクロージャが数多く提示されている。これらの従来装置のいくつにおいて、蓋の力は、蓋の圧力を前記蓋部材のトップ壁に与えることによって与えられる。他の空間位置においては、最初の蓋の圧力は、前記ベスキャップスカート部を圧迫する (squeeze) ことによって得られる。これらのディスプレイ可能なクロージャにおいては、子供に対する安全性を確保しながら、蓋の縁部を開放のために導出させる動作をより容易にするために種々の工夫がなされてきた。

本発明は、その蓋部材の最初の閉鎖動作を行うための蓋の破壊を有する密閉装置に関する。この装置の構造によって、前記蓋部材は、蓋のキャップ部や他のトップ部を有するさまざまな種類の蓋部に適用可能であり、前記閉鎖機構は、容易に子供にも安全な構造、又は簡易な手操作にすることが出来る。

本発明の密閉装置は、蓋部への嵌り付けのための手段を備えたベスリングを有し、この構造は、前記蓋部に付する軸方向の移動を伴わない状態で前記リングが前記蓋部に付して回転することを許容する。前記密閉装置は、更に、蓋と、この蓋が蓋部材の開口部へのアクセスを防止する閉じ位置と開放位置との間で動作すること

特発平9-506425 (5)

を許容した状態で、この蓋を前記ベースリングに接続するセンジとを有している。前記蓋にはカム部材が設けられ、これは、前記リングが回転した時に、前記カム部材の移動によって蓋がその閉じ位置からその開放位置の方へと移動して、蓋がその最大開放位置へと回転することが出来るように構成されている。

前記蓋閉鎖蓋の蓋のカム部材は、前記蓋のカム面と係合し、これによって前記リングの回転に伴って蓋が所定動作し、前記カム面と前記カム部材とが協働する。

前記カム面は、前記のネック部に形成された隆起状又は凹状突起面として形成可能であり、これが、前記蓋閉鎖蓋のリングが回転された時に前記隆起状又は凹状突起面によって持ち上げられる際方向に低下したカムフロアとして構成可能な前記蓋のカム部材と協働する。

前記蓋閉鎖蓋のリングには、前記蓋ネック部の対応するフランジに亘って、前記リングを、その前記蓋ネック部に對する型嵌を許容した状態で、前記ネック部に保持する内周側のビードを設けることが可能である。

蓋が閉である場合には、この缶のトップ部の開口部に嵌入し、その上に前記蓋ネックリングが前記開口可能な状態で閉まる前部材を設けることが出来る。前記蓋のカム部材と協働する前記カム面は、この嵌合部材の端部に形成されることになる。従って、このような嵌合部材を、最終なフランジ付きの瓶のネックフィニッシュ部に使用

して、その端の点では単純な押しブロー（ex (rue) blow）成形過程でリフティングカム面を提供するようにしてもよい。

前記蓋閉鎖蓋が前記のネック部に固定取り付けられる場合には、前記蓋がその閉じ位置にあるときに前記ネック部に係合して前記開口部をシールするプラグを設けることが可能である。このプラグは、前記ネック部の外周又は内周面に係合するように形成構成することが出来る。前記プラグが前記蓋ネック部の外周面に係合する場合に、このプラグに、前記蓋のネック部の外向きフランジに固定する内周ビードを備えることが可能である。前記蓋のカム部材の持ち上げ動作によって、この蓋ビードは、前記蓋ネックフランジから脱落して外れる。

一実施例において、前記蓋ビードは、その少なくとも一つの分岐（segment）が前記蓋のカム面として作用するように区分される。前記蓋ネック部の隆起または凹状カム面に對して、前記蓋ネック部には、一つのカム面又は互いに幾何配置された複数のカム面を設ける。前記カム面は、要求輪郭（contoured contour）を有し、前記蓋閉鎖蓋のリングが回転した時に、カム部材として作用する前記ビード分岐が上方内にかみ合されるものならず、外部にそれと前記蓋ビードを前記蓋ネックフランジのフランジに嵌込するようにする。前記ビード分岐カム部材は、従来には、前記蓋ネックカムの

複合輪郭によって、前記蓋ネックフランジ部から「すき取られる（prowded off）」。

前記蓋解除機構のまきにその性質によって、前記蓋閉鎖蓋を、容易に子供にも安全な構成、又は周知型と構成とすることが出来る。子供にも安全な構成は、それを解除しない限りは前記蓋閉鎖蓋のリングが順次出来ないロック部材として構成できる。これは、前記蓋閉鎖蓋のリングに、前記蓋ネック部又は嵌合部に設けられた一つの又は複数のネジと協働で、前記リングに絞り圧力が加えられるまではこのリングの回転を防止する。ネジ又は複数のロック部材を使用することによって実施可能である。一実施例においては、前記絞り圧力を前記タブに与えて、これらのタブを半徑方向内方に移動させて前記ロックを解除する。別の実施例においては、前記圧力を前記タブから90度の位置で与えてロックを解除する。

同様に、前記蓋閉鎖蓋に、この蓋閉鎖蓋の内部物に對するいかなる又は最初の開放を表示する密封解除機構を追加することが出来る。これは、前記蓋と前記リングとの間に、切り離された時に初めて前記蓋がその閉じ位置からその開放位置へと回転することが許容される従後部によって構成可能である。この従後部は切り離され、これが前記蓋が最初に開けられたこと又はいたずらされたことの証拠となる。この密封解除機構は、前記蓋を開けるためには、除去する必要がある。前記蓋と前記リング

との間に設けられたはぎ取り用として構成すること出来る。前記密封解除機構は、又、前記蓋とリングとの間に設けられた、前記蓋が最初に開けられた時に壊れる、溝状又は割裂の壊れやすいウェブとして構成可能である。

本発明の好適態様において、前記蓋は、前記リングの内周面にフィットする。これによって、前記蓋とリングとを、これら蓋とリングとの間でラジダシ（lifting shingle）を形成し、互いに超はした位置で嵌合することが出来る。これによって、適宜な前記蓋とベース部材とを、蓋をベース部材から180度開いた位置で嵌合する必要があるのに對して、破損のせいの空間を大幅に節約することが出来る。密封解除は、前記蓋とリングとの間で半徑方向に延出し、前記蓋をリングに對して最初に回転又は持ち上げ動作させた時に切り離される溝状又は一連のウェブによって設けることが出来る。

前記蓋ネック部に、開口部又はノズルアダプタを設けて分配開口部の寸法を縮小して買取漏れのための注口を形成することも可能である。前記アダプタの開口部又はノズル開口部は、前記蓋がその閉じ位置にある時は、この蓋に設けられたプラグによって封鎖可能である。又、このプラグは、前記蓋閉鎖蓋が前記蓋ネックに取り付け又はチャップ止めされる前において、前記蓋閉鎖蓋内において前記アダプタを保持することも出来る。

特許第6-508425 (B)

柔軟な容積のネックフィニッシュ部又は毎のトップ部への適用において食品包装材料を使用する場合、前記容積ネック部のラップは、前記ラップが容積ネック部の開口に適合すると同時に、この食品包装材料の開口面に密着可能である。

容積リングにセンシティブなカム開閉部の重を使用する本発明の密閉装置又は密閉装置-容積パッケージにおいて、その他の造形が可能であることは容易に理解されてであろう。

本発明の目的は、次の図面に開示され、以下の図面に示された実施例によって達成される、ここで、

第1図は本発明の密閉装置を容積のネック部に取付けた状態を示す断面図であり、蓋はその閉じ位置にあり、この蓋を密封し開けることによって、前記密閉装置の重とベアリングとの間に設けられた溝れきというエッジが露れる。又、前記密閉装置のカム部材と前記容積ネック部のカム面との関係が、前記密閉装置のベアリングの図解によって作動する蓋持ち上げ機構を示すため、概略で示されている。

第2図は第1図の本発明の実施例の分解斜視図であり、蓋の開放によって前記の密封部が露れきというエッジが現れた後、前記蓋が開放位置にある状態が示され、更に、前記容積ネック部の密封部を最小するために中間部のアダプタの使用が示され、又、前記蓋のカム面

に露けられた状態を示している。

第3図は本発明の別の実施例を示す部分断面の平面図であり、ここで、前記密閉装置は、前記容積ネック部に留められたノズルアダプタを受けるべく変形可能で、同時にロック解除動作しない限り前記密閉装置リングが原状に陥しないようにする手段に安全機構がその一面を特徴によって示されている。

第4図は第1図の1-8線に沿った断面図であり、その切開かれた面は、密閉装置ベアリングに設けられた予保安全用ラックが、容積ネック部の嵌止部材と嵌合した状態を示し、更に、前記密閉装置リングが正設時に対向する矢印によって示されるように形成して、前記予保安全用ラックが解除された状態が概略によって示されている。

第5図は蓋の部分切除して本発明の別実施例を示す第3図に類似の断面図であり、ここで、前記密閉装置は面のトップ部に導入された嵌込部材に集めて、前記密閉装置は、前記嵌込部材の嵌止部に嵌合して前記密閉装置リングをその密封と漏れに防ぎたい限りはこの密閉装置リングが回転することが出来ない、予保安全用ラックを有している。

第11図は第9図の矢印11-10の方向に沿った第8図の密閉装置の部分正面図であり、前記密閉装置ベアリングに設けられた複数の時計回し用ラックの一つが前記嵌

合と、前記容積ネック部のカム面の詳細とが完全に示されている。

第3図は第1図の3-3線に沿った部分断面の矢正断面図であり、第1及び第2図の密閉装置を、容積ネック部内に開口アダプタを設けた容積ネック部に密封可能な状態を示し、更に、この図には、スナッチビードとフランジ構造、及び前記容積ネック部に設けられたフランジ段との相違で前記密閉装置が前記容積に対して永久にあるいは容易に取り外しできない状態で取り付けられた状態が示されると共に、前記蓋から垂下するプラグによって前記分配開口が密封された状態が明確に示されている。

第4図は第3図の4-4線に沿った部分断面図であり、前記密閉装置リングが矢印の時刻方向に回転されて、前記蓋のカム部材が、前記容積のカム面に嵌合する状態が示されている。

第5図は第4図に類似の部分断面図であり、前記蓋が前記密閉装置ベアリングに対して完全に開放された後で、前記密閉装置の前記カム部材が前記容積の前記カム面に嵌合した状態が示されている。

第9図は第5図の6-6線に沿った、第1-第5図の密閉装置の断面正面図であり、前記蓋ビードと容積ネックフランジとの保持に付を替えて、前記蓋カム部材と前記容積のカム面との相違によって、前記蓋と前記密閉装置ベースとの間の密封部がエッジが現れて、前

面材料に形成された複数の嵌止スロットの一つに嵌合した状態を示している。

第11図は一部分を切除して、第9及び第10図の両端部に類似の本発明の更に別の実施例を示す部分正面図であり、ここで、前記嵌込部材は、容積ネック部に固定されている。

第12図は第2図に類似の本発明の前記密閉装置の分解斜視図であり、取り外し式スロットとヒンジとによって前記蓋が前記密閉装置ベアリングに嵌合された状態が示され、更に、前記密閉装置ベアリングと前記容積本体との間に設けられた予保安全用ロックに関する別の実施例を示している。

第13図は第12図の密閉装置の断面正面図であり、前記密閉装置が、容積アダプタが前記容積ネックフィニッシュ部と前記密閉装置との間に設けられた状態で閉じ位置にある状態が示されている。

第14図は本発明の別の実施例を示す第2図及び第12図に類似の分解斜視図であり、前記密閉装置に前記密封部は取り外し可能な構造で、更に、前記密閉装置と前記容積ネック部の間に予保安全用ロックを適用した状態を示し、更に、前記容積ネック部に設けられて、第15図-第17図により詳細に示すところの前記密閉装置の別の実施例のカム部材と嵌合するカム面型の異なる実施例が示されている。

符表字B-506425 (7)

第15図は第14図に示された密閉装置の断面正面図であり、この密閉装置は、配管がその側方位置にある状態の省型フランジに設置され、荷役機と配管キャップ蓋との間と、荷役機と密閉装置ベースリングとの間とに埋め込みウェーブを備えた密封調整部は、固定片によって固定されている。

第15図は第14図、第15図及び第17図の蓋の断面図であり、前記蓋がその閉じ位置にある時に、この蓋を前記容器ネック部又は米込み部材に固定するための、半径方向内方に向けられた複数の突起又は、分断ピードの端々の牙動として構成されたカム部材を示している。

第17図は第14～第16図の時間経過断面図であり、前記置が、前記寄荘に形成されたカム面と前記密閉閉装蓋に設けられたカム部とに一部分との当接によって前記位置にカム嵌合された状態を満している。

本要項の経費支出例の詳細な説明

第1〜第8番図において、前記第1番図10は、容積率10%は概14のネット面12に取付け、又は、これに相当する取付け部材に於ける、容積率10%は、ベースリング11と16と、これに付するヒンジ21のよって幾何学的な歪118とを有する。前記ヒンジ20は、前記ベースリング11と前記歪118と一体成形またはラッピング施例において示されている。第1〜第8図に示す好適実施例において、前記歪118は、前記第1番図10の内径に等しい。

も小さな歪曲を有し、荷記閉鎖質量10が、荷記歪と共にその用む位置にて成形可能に構成され、これによって歪をベースキャップ又はリングから18度傾斜した位置において成形する従来の成形方法と比較して大幅に成形歪曲を抑制している。

前記ページリング18は、内面側のヒート2を有し、これは発熱素コイルラック22に設置して、キヤノンに対して取組は可能であるが、絶縁方向の断片は所望された状態で、前記リング18を前記取組素コイル22に保持している。前記素コイル18は、トップ部より下部にスカー1部2と納め残る部分3とを有する。前記素コイル18は、その断片は電気に対して前記取組素コイル断面の断片2に對する空透を有する。第1〜第6箇実施例において、前記取組用加圧カラム3は、前記取組用加圧コイル又は絶縁性カラムを結合する最下部分30が、第1箇の突片38によって示される5箇方向に接続されること、前記カラム断面30が、第5箇方向に接するよう、前記カラム24は、その表面に上部に突起を有するよう、第2箇に對する絶縁前記素コイル又は絶縁カラム24に於けるヒート38に對り、同様に、第3〜第6箇の突片30に於けるヒート38に對する18を有する片をもち、この断片を完全に同様な分配位置と押し込みとが出来る。

図記号18の、着スカート座の座船には、内向きの子

ード又はフランジ40が掛けられ、これは前記窓格納ネット2部のみ動かしフランジ42との接触で、前記カムフクロ730が、前記ビードに留められている鋼紀章を押し上げた。家が失印44の方向に上方に移動して、第6図に示すように前記窓格納フランジから開放されるまではこの巻をその位置に保持する。

第 2、3 及び第 6 図に最もよく示すように、両側面プロ
ダクト (olive oil product) が使用
して、前記分配用開口部を、比較的大きな管径の開口部
と小さな前記アプタの比較的小さなす法の開口部と
の 2 つとからなつてゐる。前記アプタの 4 角は、
通常より強いの内筒と外面とを離す見易なスカート部
を備へたアプタとして形成されてゐる。前記スカート
部は、その前記下部にプラグ 2 は、前記図 1 中の前記
の位置に電着により特に、前記分配用開口部と密に密着状
で密着する。図 1 中のプラグ 2 は、前記管径を有する前
記管系をアプタに連する連に、前記プラグ 2 を前記分
配用開口部 4 部に 4 角に密着することによって、前記分配
用開口部 4 部に密着可能である。各管の内筒を包繞した外面
の開口部即ちアプタは、前記アプタの上部に前記アプタにおいて
両側面プロダクトの内部と外部状態を隔て置かれる。

表2-1第6回の閉鎖装置10には、前記巻スカート部28と前記ベースリング16とに間に埋れ易い蜜蝋のウニブリ4を敷けることによって、開封顯示機構を導る。

ことである。これらのウェブは、前記ペーシング法を厳密に認識させ、前記カメラ露光3ととも画素1との協働動作によって前記露光1より上方移動することを、露光2及び露光3の間に54°で実行されるこれらの露光されたウェブの外観で、中身に一致した最初の露光が露光2ことを示す。これらのウェブは、更に、対応する露光量が露光された露光カメラが露光露光に使用される場合、前記露光その間に位置に露光する作用も示す。その故、前記露光は、前記露光1と前記露光2と露光3とウェブ2との協働動作で、前記露光ウェブ2と分配露光4と8との協働作用によって作り出される露光作用によっても、露光1と露光2と露光3と露光4と露光5と露光6と露光7と露光8と露光9と露光10と露光11と露光12と露光13と露光14と露光15と露光16と露光17と露光18と露光19と露光20と露光21と露光22と露光23と露光24と露光25と露光26と露光27と露光28と露光29と露光30と露光31と露光32と露光33と露光34と露光35と露光36と露光37と露光38と露光39と露光40と露光41と露光42と露光43と露光44と露光45と露光46と露光47と露光48と露光49と露光50と露光51と露光52と露光53と露光54と露光55と露光56と露光57と露光58と露光59と露光60と露光61と露光62と露光63と露光64と露光65と露光66と露光67と露光68と露光69と露光70と露光71と露光72と露光73と露光74と露光75と露光76と露光77と露光78と露光79と露光80と露光81と露光82と露光83と露光84と露光85と露光86と露光87と露光88と露光89と露光90と露光91と露光92と露光93と露光94と露光95と露光96と露光97と露光98と露光99と露光100と露光101と露光102と露光103と露光104と露光105と露光106と露光107と露光108と露光109と露光110と露光111と露光112と露光113と露光114と露光115と露光116と露光117と露光118と露光119と露光120と露光121と露光122と露光123と露光124と露光125と露光126と露光127と露光128と露光129と露光130と露光131と露光132と露光133と露光134と露光135と露光136と露光137と露光138と露光139と露光140と露光141と露光142と露光143と露光144と露光145と露光146と露光147と露光148と露光149と露光150と露光151と露光152と露光153と露光154と露光155と露光156と露光157と露光158と露光159と露光160と露光161と露光162と露光163と露光164と露光165と露光166と露光167と露光168と露光169と露光170と露光171と露光172と露光173と露光174と露光175と露光176と露光177と露光178と露光179と露光180と露光181と露光182と露光183と露光184と露光185と露光186と露光187と露光188と露光189と露光190と露光191と露光192と露光193と露光194と露光195と露光196と露光197と露光198と露光199と露光200と露光201と露光202と露光203と露光204と露光205と露光206と露光207と露光208と露光209と露光210と露光211と露光212と露光213と露光214と露光215と露光216と露光217と露光218と露光219と露光220と露光221と露光222と露光223と露光224と露光225と露光226と露光227と露光228と露光229と露光230と露光231と露光232と露光233と露光234と露光235と露光236と露光237と露光238と露光239と露光240と露光241と露光242と露光243と露光244と露光245と露光246と露光247と露光248と露光249と露光250と露光251と露光252と露光253と露光254と露光255と露光256と露光257と露光258と露光259と露光260と露光261と露光262と露光263と露光264と露光265と露光266と露光267と露光268と露光269と露光270と露光271と露光272と露光273と露光274と露光275と露光276と露光277と露光278と露光279と露光280と露光281と露光282と露光283と露光284と露光285と露光286と露光287と露光288と露光289と露光290と露光291と露光292と露光293と露光294と露光295と露光296と露光297と露光298と露光299と露光300と露光301と露光302と露光303と露光304と露光305と露光306と露光307と露光308と露光309と露光310と露光311と露光312と露光313と露光314と露光315と露光316と露光317と露光318と露光319と露光320と露光321と露光322と露光323と露光324と露光325と露光326と露光327と露光328と露光329と露光330と露光331と露光332と露光333と露光334と露光335と露光336と露光337と露光338と露光339と露光340と露光341と露光342と露光343と露光344と露光345と露光346と露光347と露光348と露光349と露光350と露光351と露光352と露光353と露光354と露光355と露光356と露光357と露光358と露光359と露光360と露光361と露光362と露光363と露光364と露光365と露光366と露光367と露光368と露光369と露光370と露光371と露光372と露光373と露光374と露光375と露光376と露光377と露光378と露光379と露光380と露光381と露光382と露光383と露光384と露光385と露光386と露光387と露光388と露光389と露光390と露光391と露光392と露光393と露光394と露光395と露光396と露光397と露光398と露光399と露光400と露光401と露光402と露光403と露光404と露光405と露光406と露光407と露光408と露光409と露光410と露光411と露光412と露光413と露光414と露光415と露光416と露光417と露光418と露光419と露光420と露光421と露光422と露光423と露光424と露光425と露光426と露光427と露光428と露光429と露光430と露光431と露光432と露光433と露光434と露光435と露光436と露光437と露光438と露光439と露光440と露光441と露光442と露光443と露光444と露光445と露光446と露光447と露光448と露光449と露光450と露光451と露光452と露光453と露光454と露光455と露光456と露光457と露光458と露光459と露光460と露光461と露光462と露光463と露光464と露光465と露光466と露光467と露光468と露光469と露光470と露光471と露光472と露光473と露光474と露光475と露光476と露光477と露光478と露光479と露光480と露光481と露光482と露光483と露光484と露光485と露光486と露光487と露光488と露光489と露光490と露光491と露光492と露光493と露光494と露光495と露光496と露光497と露光498と露光499と露光500と露光501と露光502と露光503と露光504と露光505と露光506と露光507と露光508と露光509と露光510と露光511と露光512と露光513と露光514と露光515と露光516と露光517と露光518と露光519と露光520と露光521と露光522と露光523と露光524と露光525と露光526と露光527と露光528と露光529と露光530と露光531と露光532と露光533と露光534と露光535と露光536と露光537と露光538と露光539と露光540と露光541と露光542と露光543と露光544と露光545と露光546と露光547と露光548と露光549と露光550と露光551と露光552と露光553と露光554と露光555と露光556と露光557と露光558と露光559と露光560と露光561と露光562と露光563と露光564と露光565と露光566と露光567と露光568と露光569と露光570と露光571と露光572と露光573と露光574と露光575と露光576と露光577と露光578と露光579と露光580と露光581と露光582と露光583と露光584と露光585と露光586と露光587と露光588と露光589と露光590と露光591と露光592と露光593と露光594と露光595と露光596と露光597と露光598と露光599と露光600と露光601と露光602と露光603と露光604と露光605と露光606と露光607と露光608と露光609と露光610と露光611と露光612と露光613と露光614と露光615と露光616と露光617と露光618と露光619と露光620と露光621と露光622と露光623と露光624と露光625と露光626と露光627と露光628と露光629と露光630と露光631と露光632と露光633と露光634と露光635と露光636と露光637と露光638と露光639と露光640と露光641と露光642と露光643と露光644と露光645と露光646と露光647と露光648と露光649と露光650と露光651と露光652と露光653と露光654と露光655と露光656と露光657と露光658と露光659と露光660と露光661と露光662と露光663と露光664と露光665と露光666と露光667と露光668と露光669と

第7期及び第8期の実施内容について、調査資料1と第7期及び第8期の2冊の通信簿に、第1期～第5期の実施内容と同じであるが、但し、ここでは第18期1回、和歌山県アスリート40名の代わりにメダリスト5名を受け入れ、より高い価値を有している。第7期中のうち、前記Aと前記Bとはクロスロードの満点から4回に亘って前記Cと前記D及びクロスロードの満点の3回に30分まで移動した距離を示している。前記Bの右上方には「作業時間は18」によって示されている。この実施例においては、子供は運動量と、遊玩スペース107の底面から落下して怪我の恐れがあるとの警告で遊玩スペース107の上方の方向への移動を抑制する。他には、

物表平6-50E425 (8)

方向に相対するラグ又はタプ5が施部されている。前記対称位置をタプ5、6を解除すると同時に、互いに相対するベアリング域8を以て、第7図の矢印64の方向に前記ベアリング18を内側に押し、第8図において58'によって示すように前記タプ6をを外側に戻らせる。一方の対向するタプを一方の対向する作止部80と使用することも可能であるとは容易に理解されるであろう。各止部80よりは、前記ベアリングを内側に压迫しない限り、いずれの方向にも同様なようにするための一対の対向方向に施部する蓋面を有している。

[illegible]

図1-1図は、この同じ紙込み部材も6が、前記紙込み部材の外周をビード68がネック12の内面の単独な溝70に適合した状態で、各タイプの容器12の容料ネッ

フィクション7に適合している状態を示している。外面の破れぬ部分にスコア7と4か、前記スコア12の外面に傷がついている。前記破れぬ部分8を仮定すると、前記破れぬ部分を単純な押込みフィクションに合わせるための両側面を破れぬ部分9の両方フィクションに合わせるように構成できることが証明されてであろう。第11図においては、前記破れぬ部分を全体の輪郭がわかるように前記破れぬ部分10を付けている11状態が示されている。第9図の破れぬ部分14に、に対するこの破れぬ部分9の両側面において、前記破れぬ部分15はその破れぬ部分14位置にある状態が示されている。前記スコア7と4か前記スコア12を取り付けられる部分2などその破れぬ部分のすべては、従前の図面に示されている。又、両側面を破れぬ部分と前記取り付け部分14かとは、第14図から17図に示すような破れぬ部分に構成可能である。

第19図の部分正断面において、第7及び第8図に示した座下タブ又はラグ58は、前記裏込み部材の本体の複数のロック用鎖止部80との臨面関係において作られ、その解除は、第9図の矢印81の方向に前記圧力パッド82に對する力を加へることによつて行われる。

前記圧力バッド4の質量は、使用者に対して、密封作業において前記子供安全用ロックを解除するために前記キャブリングのどの部分を圧迫すべきかを示す。例として、前記及び前記8図の左側のロックタブ5は、封

記区バッド 6 2 に矢印 6 4 の方向に指の正力を加えることによって斜角にそれ曲がるように構成されている。前記区バッド 5 2 5 4、前記区バッド 5 8 から 9 8 車庫位置において、前記区バッド 5 8 を位置 5 8' へと前記斜角停止部 6 0 へと結んで固定される。第 9 及び第 10 図の実施例においては、前記区バッド 5 8 は、前記位置 6 0 斜角停止部 6 0 の四方に開けられて、前記区バッド 5 8 の裏面に位置する前記区バッド 6 2 に対して矢印 6 4 の方向に正力を加えられるように構成されている。

[illegible]

セシジンは、大正四新舞臺、4、5、6、7、8の年々に記載されているように、マフのボストとスロップに演じてまよい。いづれのものの実施地においても、南米外産カウチノ結糸も、第1回目に準ずるよう、前記者各々の結び位置にある年には、官能ペーキング1の外國と第一である。前記有線電報ネットワークの新設外別出ラランジェラに結合する前記内洋間パイプは又フランジ、巻きの内側カウチノ28の、底面に存在している。海陸市街安室用ラッチを8、9の異なる形制が併存しており、このことは、前記ペーキング18の前記定時停止等、同記答復フィッシュの輪動方向に延出する年迄も8にも相合するスラスト5として構成されてゐる。第7及び8又は第9次第10の固め機構の平供安全用ラッチを8、9と相偶し、前記ラッチを解除するためには、官能ペーキングを押し付け操作して、このペーキングを完全に、表裏面より押付後8との前記寄合部から第3との係止部により、前記装置を開放しなければならぬ。第13組には、更に、毎秒ラックラッパ14と重トランプ鼓28との間に書ける密封ガスト8との組合せが採用されている。このガスト8は、両端の開口、断差を有するとし構成すること

特許平6-506425 (9)

ックカム図34'が変更されている。前述実施例の内
向き直線性ビード40は、通常、周方向に連続したビード
として形成される。第14〜第17図の実施例におい
て、このビードは、40'及び30'として示される様に
分断状に形成され、少なくとも一つの分断30'が前
記密封部材として作用する。前記密封ネック部のカム
図34'は、第14図に示すように組合曲線を生じ、前
記ベースリング18が第14図の矢印36の方向に回転
された時に、前記分断状ビードカム部材30'が、第
17図において矢印30'、32'によってそれぞれ示すよ
うに、外方に、かつ上方に駆動される。その時のビード
分断30'、40'は、同時に解除されるか、あるいは、
前記密封部、第17図において38'によって示す、その
完全開放分断位置にまで解放するために上方の圧力が与
えられた時に解除される。第14及び第15図に最も明
白に示すように、前記装置10に対して、密封解除機構
が追加されている。これは、前記解除器いっウェブ54'
が押れて前記ベースリングが回転された時に前記装置が
開放するようにするためには、矢印38'の方向に図中34'
で示される所て上方に引っ張る必要がある、プラグ94
として構成されている。第12及び第13図に示す予備
安全用ロック58、60が、更に、前記密封装置10に
適用され、これは、前記密封装置10に併合して、
前記装置を外側に曲げて前記プラグ94をスロット8'から

駆動するためには、圧力タブ82に対して矢印34'の方
向に内側への圧力を加える必要がある前記ベースリング
のスロット82並列8'として形成されている。

図準した数多くの実施例から、本発明にかかると明瞭な
裏面付ディベンス可能なクロージャにおいては、前
記装置を前記ベースリングの回転によって簡単に駆けるた
めのカム部材に種々の変形例が可能なことと明らか
であろう。又、前記密封装置には、予備安全用機構と前
記駆動機構とを設けても、誤りなくともよい。更に、こ
の密封装置には、この密封装置を閉じる時のトップ部や
縁部を上げられている際のチェック部のような種々の形状
に適用するために、後述の部材を渡けることも可能であ
る。

第15図の実施例において、第13図に示したガスケット
シート48は前記のガスケット密封部材8'8'を示さ
れている。第17図において、前記ガスケットシート88
は、前記ネック部12の内面に密封状態で嵌合する通10
のトップ部26のプラグ94によって取って取って替わられて
いる。前記部材が、前記密封装置の蓋のビード分断
部材30'を有する密封装置と使用される時には、第
9図〜第11図に示すタイプの前記部材8'6に、組合
輪郭を備えたカム図34'を形成することが意図されて
いる。



